

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-226650(P2009-226650A)

【公開日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2008-72608(P2008-72608)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体を吐出するノズル開口と、前記ノズル開口に連通し圧力が付与される圧力発生室と、前記圧力発生室に圧力を付与する圧力発生手段とを具備し、

前記圧力発生室と前記ノズル開口との間には、前記液体が流れる液体吐出路が設けられ、

前記液体吐出路は、流路面積が前記ノズル開口よりも小さい小径部と、該小径部よりも前記ノズル開口側に設けられ当該小径部よりも流路面積が大きい拡大部とを有することを特徴とする液体噴射ヘッド。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の液体噴射ヘッドにおいて、

液体が貯留されるリザーバに繋がる液体供給路が前記圧力発生室から連続して設けられ、

前記液体吐出路のイナータンスが、前記液体供給路のイナータンスよりも小さくなっていることを特徴とする液体噴射ヘッド。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の液体噴射ヘッドを具備することを特徴とする液体噴射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記課題を解決する本発明の態様は、液体を吐出するノズル開口と、前記ノズル開口に連通し圧力が付与される圧力発生室と、前記圧力発生室に圧力を付与する圧力発生手段とを具備し、前記圧力発生室と前記ノズル開口との間には、前記液体が流れる液体吐出路が設けられ、前記液体吐出路は、流路面積が前記ノズル開口よりも小さい小径部と、該小径部よりも前記ノズル開口側に設けられ当該小径部よりも流路面積が大きい拡大部とを有す

ることを特徴とする液体噴射ヘッドにある。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】